

# ハニーブライト

登録番号：第7358号

登録年月日：平成11年9月6日

登録者：沖縄県（沖縄県那覇市泉崎 1-2-2）

育成者：池宮秀和 高原利雄 中西  
建夫 島袋用詳 唐真彦  
島仲常吉 出花幸之介 金  
城鉄男 小野良孝 藏盛一

夫 山口薫夫 岡啓 宮城  
恒夫

歴：「三菱系（スムースカイエン  
種）」と「I-43-9」の交雑実  
生

育成地：沖縄県那覇市（沖縄県農業  
試験場那覇支場）

## 特性

### ■栽培特性

草姿は斜立性で、葉は濃緑色を呈している。葉縁部に刺は全く発生せず、栽培管理および収穫作業が容易である。夏実着生時におけるえい芽の発生は8本程度と多く、植え付け種苗の確保は容易であるが、えい芽の大きさは小さく100g程度である。吸枝は1本程度と適正な発生である。葉数は43枚と比較的少ない。果柄長は24cm程度で夏実としては「N67-10」および「ボゴール」より比較的長い。果実の倒伏は見られない。冬実の着生時には、えい芽および吸枝の発生は少なくなるが、葉数が多く果柄も長くなる。沖縄本島は北部地域では、露地栽培の夏実は3月中旬頃に出蕾し、収穫が8月中旬頃となり、「N67-10」よりやや収穫の早い中生の品種である。八重山地域では収穫が1カ月程度早い。

### ■果実特性

果実の大きさは「N67-10」より小さく、「ボゴール」よりやや大きく900g前後で円筒形を呈する。果皮は橙黄色で、小果の突出程度は平滑である。果肉は黄橙色で果皮果肉ともやや硬い。「ボゴール」より果肉内の空隙が少なく、果汁量が多い。夏実の糖度は18%前後、酸度は0.4%前後で「ボゴール」とほぼ同等、しかし「N67-10」より高糖低酸で食味に優れている。ハウス栽培で8～9月頃の草本をカーバイトで処理して出蕾させ、春に収穫する春実は、夏実よりやや果実が大きく、果実と同様食味に優れている。冬実は夏実より大きく1,400g程度になるが、「ボゴール」より低糖高酸で食味はやや劣る。

### ■病虫害抵抗性および栽培上の留意点

パインアップルの果実の大きさは草本の大きさと相関関係にあり、本品種のように果実が小さい場合は大きめの種苗を植え付け、生育促進を図る必要がある。本品種は夏実着生時にはえい芽の発生が多いので、植え付け種苗の確保は容易であるが、えい芽の大きさは小さい傾向にある。えい芽を2本程度残し、残りは除去して果実の肥大促進を図るよう心がける。えい芽を植え付け種苗に用いる場合は大苗に育苗する必要がある。

草本は萎凋病に弱いので、徹底した薬剤防除が必要である。本品種は果実病害の花樟病や黒目病にやや弱く、花樟病の場合は開花期の液肥や尿素散布を避け、病菌の侵入を促進する要因を避ける必要がある。

### ■地域適応性

本品種は沖縄本島北部地域および八重山地域の酸性土壌地帯に適している。

ハウス栽培では、露地栽培よりも果実が大きく、病害果も少なくなる傾向にある。

(池宮秀和)